

**授業概要**

シェイクスピアから現代アメリカ小説に至る英語圏文学の流れを「女性」をテーマに概観する。イギリス文学作品では女性登場人物の表象に焦点をあて、それらと当時の社会や歴史との関係を考察していく。アメリカ文学作品では女性作家による短編小説を講読し、性差に加え人種の問題についても考えていきたい。

**授業計画**

第1回	オリエンテーション
第2回	エリザベス朝演劇の隆盛① — シェイクスピアの喜劇
第3回	エリザベス朝演劇の隆盛② — シェイクスピアの四大悲劇
第4回	エリザベス朝演劇の隆盛③ — シェイクスピアの史劇
第5回	イギリス近代小説の誕生① — 時代背景
第6回	イギリス近代小説の誕生② — ジェーン・オースティン『エマ』
第7回	ヴィクトリア朝の小説① — シャーロット・ブロンテ『ジェーン・エア』
第8回	ヴィクトリア朝の小説② — エミリー・ブロンテ『嵐が丘』
第9回	ヴィクトリアニズムの崩壊 — トマス・ハーディ『テス』
第10回	アメリカ文学における女性の目覚め① — アメリカの歴史
第11回	アメリカ文学における女性の目覚め② — ケイト・ショパン
第12回	黒人女性作家の活躍 — トニー・モリソン
第13回	黒人女性作家の活躍 — アリス・ウォーカー
第14回	まとめ
第15回	期末試験

**履修上の注意**

30分以上の遅刻は欠席と見なす。

**評価方法**

出席状況と授業中の態度、定期試験の結果などによる総合評価。

**テキスト**

適宜プリントを配布する。